

第11回西日本オープントーナメント葉山清流杯 修道館空手道選手権大会ご案内

立夏の候、各会派流派の先生方におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は修道館行事運営等にご理解、ご協力をいただきまして誠に有りがとうございます。さてこの度「第11回西日本オープントーナメント葉山清流杯 修道館空手道選手権大会」を高知県高岡郡津野町 葉山運動公園総合センター体育館におきまして、令和8年9月13日（日）、午前9時30分より開催することとなりました。ご案内をさせていただきます。

尚、当日は、役員一同万全を期して、皆様をお迎えするよう準備致しております。「大会要綱」ご確認のうえ、ご参加ご臨席賜りますよう、ご協力の程、お願い申し上げます。

敬具

令和 8 年 5 月 吉日

第11回修道館空手道選手権大会
実行委員長 笹岡 万稔

第11回西日本オープントーナメント葉山清流杯 修道館空手道選手権大会要綱

- 1、主催 四国修道館空手道連盟
- 2、主管 沖縄正統空手道修道館
- 3、後援 (予定) 高知県、高知県教育委員会、津野町教育委員会
高知新聞社、RKC高知放送、KUTVテレビ高知
(有)篠原基礎、(有)BIKEN、(有)土居工業
(株)ヒロマツスポーツ
- 4、協力 JKKF日本硬式空手道連盟、西日本硬式空手道連盟
四国硬式空手道連盟、高知県硬式空手道連盟
- 5、日時 令和8年9月13日(日)
開場時間 午前8時00分
受付時間 午前8時30分～9時10分
開会式 午前9時30分
- 6、会場 高岡郡津野町葉山運動公園総合センター体育館
高岡郡津野町永野246
TEL(0889)55-2230
- 7、競技方法
 - (1) 型試合／判定基準 姿勢・着眼・技の切れ・技の力強さ・緩急・気迫とする。
 - ①規定型・平安初段～5段、ナイファンチ初段～3段、バツサイ大の型を規定型(流派不問)とする。
 - ②演武の区分・小学生の部「2年生は平安二段。3年生以上は平安初段から五段」、中学生から一般迄の部「平安四段～五段、ナイファンチ初段から三段、バツサイ大」による、旗方式トーナメント制とする。創作型不可。
 - (2) 組手試合／①直接加撃方式によるトーナメント制。②採点はポイント制による加点方式。全試合先取り1本勝負(相手との間に3ポイント差が生じた時、又時間内にポイントを多く取った方を勝者)とする。③面はKプロテクター、スーパーセーフを着用する。④胸は、**Kボディプロテクター(リバーシブル)、ハードボディプロテクター**を着用する。小学1年生以上一般まで(男子、女子全員)身につける防具は全て、個人持参となります。幼年の胸は主催者側で準備する軽量ボディプロテクターを着用する。⑤拳サポーター、脛サポー

ターは白色布製に限る。黒色禁止。脛(すね)サポーターは、脛と足の甲が一体となったものを着用する。⑥ファールカップは(小学1年生以上の男子、女子)道着ズボン内側に着用する。不着用発覚時は義務違反により失格となります。

8、競技種目

- (1) 型試合／出場資格・小学2年生から一般までの男子、女子とする。
(全クラス別。) 少人数の場合は混成とする。
- (2) 組手試合／①幼年、小学生、中学生、高校生、一般女子(高校、一般)、一般男子(有級・有段)、全クラス別。少人数の場合は混成とする。
②チャンピオンクラスマッチ(中学生男子の部、一般男子の部)／中学生男子の部・過去の中学の部の公の武道大会において、優勝、準優勝された選手を対象とする。
一般男子の部・過去の公の武道大会において、優勝、準優勝された選手を対象とする。
③団体戦(勝者数式)／小学低学年 男子、女子(1～3年生)、小学高学年 男子、女子(4～6年生)、中学生・高校生男子女子、一般男子の部とする。＜1チーム3人制とし、試合時間1分30秒、1本勝負、勝負が決しない時は引き分けとし、大将の(1分先取り)決定戦とする。更に決しない時も、大将による1分先取り勝負(延長)を行ない勝敗を決する。＞

9、参加方法

- (1) 添付の「個人別申込書」「団体戦申込書」「クラス別申込書」にて申込み下さい。ゼッケンN○は当日受付にてお渡しします。
- (2) 参加費用／1種目5,000円、2種目以上5,500円。
但し、幼年・小学1年一律4,000円
※参加費用は、大会プログラム、賞品、チャリティー基金、大会運営費等に充当されます。
- (3) 参加服装／選手は空手道大会にふさわしい清潔な道着を着用のこと。道着ズボンの裾、袖まくりはしない。袖の長さは肘までかそれ以上の長さとする。又女子を除き、道着内側への肌着の着用は禁止とする。やむを得ない事情のある場合は、白色を着用とする。女子も同色とする。反社会勢力、また入れ墨のある方は原則参加できない。

- ## 10、表彰
- ① 組手、型／1位、2位、3位に、賞状、トロフィー、楯を授与する。
 - ② チャンピオンCM／(中学、一般)1位、2位に賞状、トロフィーを授与する。

- ③ 団体戦／ 1位、2位に、賞状、メダル、
一般のみ別に優勝旗（持ち廻り）を授与する。

11、大会競技ルール 連盟からの注意事項又はパンフレットに添付の「大会競技ルール」をご確認ください。

12、申込み締切日 令和8年6月30日（火）必着とする。

13、協賛広告

添付の「広告、申込書」をご確認ください。ご協力よろしくお願い致します。

14、大会申込書送付先〈大会問合わせ先〉

〒780-0914 高知市宝町30-10

大会事務局 空手道修道館本部 笹岡 万稔 宛

TEL 088(824)8884 FAX 088(824)8896 携帯 090-7787-3714

※組合せ抽選会後の参加費の返還は出来ません。ご了承ください。

15、参加費、広告代、弁当代振込先〈大会申し込み時、お振込み下さい。〉

四国銀行福井支店 普通口座番号0261080

（修道館空手道連盟）^{ささおか かずお} 笹岡 一雄 名義

16、組合せ抽選会

代表者又は選手本人の出席をお願いします。欠席の場合は主催者側に一任したものとみなします。

日時・令和8年7月19日（日）AM9時30分より。

場所・高知市宝町30-10 大会事務局 修道館本部

TEL 088(824)8884 FAX 088(824)8896

17、注意事項

- (1) 試合の全ての防具は、小学1年生より一般まで（男子・女子）全員個人持参となります。会場での準備はしておりません。 防具不足の場合は、自己の道場において、都合を付け合ってください。幼年の胴は主催者側で準備するものとします。試合前の整列時、準備出来ていない場合は出場出来ませんのでご注意ください。持参した防具類の使用は主催者側の認めるものとします。監督、保護者の方は、自己道場の選手に、防具を装着させ、試合前の整列に送り出して頂きますようお願いいたします。
- (2) 安全対策として、大会中の事故・怪我等については主催者側は応急処置のみとなります。それ以外は個人の負担とし、責任は負いませんので、各団体において、スポーツ保険、又個人の保険に加入しておいて下さい。万一の場合に備え保険証の写しをご持参下さい。
- (3) 大会当日の閉会式は行ないません。幼年より一般（団体戦を含む）迄の、

各クラスの表彰式は、準備した所定の位置で（本部席東端）順次行ないますので、入賞者の皆さんは、表彰場所に待機して頂きますようお願い致します。尚、全試合が終了しましたら、アナウンスが試合終了の放送を行ないますので、選手の皆さんは役員の待つ本部席前に、役員の指示に従って集合して下さい。集合が整いましたら残りの表彰式を本部席前に移動して行ないます。終了後は「閉会の辞、閉会宣言後」解散と致します。

18、コロナウイルス等感染症対策に対するお願い

(1) 大会参加者全員、会場入口での検温実施、消毒液による手洗い、会場内のマスク着用につきましては、選手、観戦者とも任意とします。ご協力お願い致します。

尚、コロナウイルス等感染症に対する陽性期間7日以内の方、検温時37.5度以上の方は入場出来ません。大会規則に反する場合も同じです。

(2) 下記症状に該当する方で、大会当日5日前迄に、症状の完治しない場合は、会場への入場は出来ません。

記

- ① 風邪の症状（咳・鼻水・咽頭痛・関節痛など）
- ② 強い倦怠感・息苦しさ
- ③ 明らかな誘因のない味覚、嗅覚の異常
- ④ 明らかな誘因のない4～5日間続く下痢等の消化器異常

(3) 選手、一般の方、大声での応援禁止、拍手での応援お願い致します。

(4) 組手、型試合中の選手のマスク不要、試合後の選手同士の握手を拳を合わせる拳タッチで行なって下さい。

(5) 天災地変等、不可抗力により、大会が中止となった場合の出場費につきましては、大会準備に要した諸費用を差し引きした後の残額をご返還することとなります。ご了解いただきますようお願い致します。

以上

第11回西日本オープントーナメント葉山清流杯 修道館空手道選手権大会

個人別申込書

参加種目	1、型試合	2、組手試合	3、チャンピオンCM	4、団体戦
------	-------	--------	------------	-------

令和 8 年 月 日

参加種目に ○印をつけてください。申込後の種目の変更、追加は出来ません。

型試合は小学2年生より出場可。

選手名は楷書でご記入ください。試合は、規定の防具以外での出場はできません。ご注意ください。

団体名 (道場名)	ふりがな		男・女
	氏名		
生年月日	昭和・平成・令和 年 月 日 (歳)	緊急連絡先	TEL/携帯 () 氏名
級・段位	級	身長 cm	体重 kg
	段		
		住所 (都道府県名)	
学生 (学校名)	出場クラス		幼年 (年長・年中以下) 小・中・高 (年) 一般
チャンピオンCM 優勝、準優勝最終戦績	最終戦歴 平成・令和 年 月 日 1. 中学生男子の部 2. 中学生女子の部 3. 一般男子の部 4. 一般女子の部 ※出場条件 / 中学生の部・過去の中学の部の公の大会において優勝、準優勝された選手。 一般の部・過去の公の大会において、優勝、準優勝された選手とする。 ※戦歴には大会の名称、年月日をご記入下さい。尚内容に虚偽が判明した場合は、失格となりますので、ご注意ください。		

私議、貴連盟の大会の趣旨、ルールを遵守し、正々堂々と競技することを誓います。尚、大会開催中の事故、負傷、それに関する傷病等については、大会主催関係者に苦情や補償を問わないことを確約します。

大会実行委員長

笹岡 万稔 殿

選手氏名

〈印〉

保護者氏名

〈印〉

※ 未成年者は保護者の自筆での署名と押印を必ずお願いします。

第11回修道館大会 団体戦申込書

令和 8 年 月 日

団体(道場)名 _____

代表者氏名 _____

参加種目 > 小学校低学年女子・男子の部/高学年女子・男子の部/中学校女子・男子の部/一般の部
 出場条件 > 同団体(道場)の会員であることを原則とする。1チーム3人制、2名以下での出場はできない。
 1団体(道場)3チーム迄とする。 / 選手名は、楷書でご記入ください。

選手名の変更 > 申込受付後の変更はできない。

※補欠選手への賞品はありません。

① 小学校低学年 女子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

② 小学校低学年 男子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

③ 小学校高学年 女子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

④ 小学校高学年 男子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

⑤ 中学校 女子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

⑥ 中学校 男子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

⑦ 一般男子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

⑧ 一般女子の部

選手名	先鋒	A		B		C	
	中堅						
	大将						
	補欠						

第11回西日本オープントーナメント葉山清流杯
修道館空手道選手権大会

昼食弁当申込書

※弁当代は1個650円(税込)です。

注文個数合計

選手・一般

個

金額合計 (個 × 650円) = 円

※上記の通り、注文します。尚、代金は大会参加費と同時に送金します。

令和 8 年 月 日

団体名

代表者
又は個人名

TEL () 局 番
携帯 - -

第10回修道館空手道選手権大会事務局 殿

第11回西日本オープントーナメント葉山清流杯
修道館空手道選手権大会 広告申込書

広告料金表 (A4サイズ)

区分	種類	サイズ(cm)	金額
A	表紙裏ページ 1ページ	17.0×25.2	70,000
B	裏表紙内側 1ページ	17.0×25.2	60,000
C	1ページ	17.0×25.2	50,000
D	1/2ページ	17.0×12.5	30,000
E	1/4ページ	17.0× 6.3	20,000
F	1/8ページ	8.5× 6.3	10,000
G	1/16ページ	8.5× 3.2	5,000

広告の枠サイズ、A・B・C・D・E・F・G いずれかを○で囲んで下さい。
お手数ながら整理の都合上、6月30日までに広告原稿のご投稿よろしくお願い致します。

原稿貼付欄

申込団体・又は個人名 _____

担当者名 _____

TEL () 携帯 - - _____

広告申込日・令和 8 年 月 日

大会競技ルール

四国修道館空手道連盟設定

1 型競技の判定基準

① 姿勢、②着眼、③技の切れ・技の力強さ、④緩急、⑤気迫とする。

試合は規定型（流派不問）小学生の部（小学2年生は平安2段、3年生以上は平安初段から5段）中学生から一般迄の部（平安3段から5段、ナイファンチ初段から3段、バツサイ大）による、旗方式トーナメント制とする。（創作型不可。）

2 組手競技の防具

- ① 胴は、小学1年生（男子・女子）以上、個人持参とする。幼年は主催者側で準備する胴を使用する。（個人所有除く。）胴以外の防具も全て個人持参とする。会場への備えはありません。
- ② 面は、スーパーセーフ又は、Kプロテクターを使用。胴はハードボディプロテクター、Kボディプロテクター（リバーシブル）を使用。その他、連盟指定の（白色布製）拳サポーター、脛サポーター（脛と足の甲が一連のもの）と、ファールカップ（小学1年生以上の男子・女子）の着用を義務とする。
- ③ ファールカップは道着のズボン内側への着用とする。ファールカップ不着用発覚の場合は義務違反による失格となる。

3 試合者の服装

- ① 試合者は、清潔な白無地の空手道衣を着用する。
- ② 女子以外、試合中の空手上着下への衣服の着用を原則禁止する。やむを得ない事情のある場合は、白色を着用する。女子も白色を着用とする。下着の袖の長さ又道着の腕の袖の長さは肘までとする。
- ③ 試合者は、金属類及びその他相手に危険をおよぼす様な物を一切身につけてはならない。
- ④ 試合者は、負傷のための治療措置として包帯、サポーター、テーピングを使用する場合には、試合前にコート審判員の許可を受けること。但し審判員の協議により危険と認める場合は、着用での試合は禁止する。なお、手首又は拳を固定するためのテーピングは禁止とする。
- ⑤ 試合者は、危険防止のため眼鏡の着用を禁止する。
- ⑥ 試合者は、空手道衣のズボンの裾、袖まくりを禁止する。

4 組手競技の得点部位

防具の面（正面、左右両面の耳より前面）、胴部に、突き、打ち、蹴り、掌底（直突きのみ有効）、膝蹴（面不可）が正しい姿勢で的確に決まった場合得点となる。

5 組手競技の判定基準

- ① 審判員は、主審1名、副審1名の2名。又は監査を含む3名で構成する。競技はミラー方式とする。
- ② 勝負は技有り、1本、反則、失格によって決定する。
- ③ 技有りは1ポイント。
- ④ 全試合先取り1本勝負。相手との間に3ポイント差が生じた時、又、時間内に多くポイントを取った方が勝ちとなる。相打ちはポイントとしない。（相打ちとは、互いにポイントとなる技を同時に又は、ほぼ同時に決めた時をいう。）
- ⑤ 場外とは、攻防中コート白線から片足が完全に外に出た時を言う。1回目より相手の1ポイントとなる。

- ⑥ 同点の場合は、全試合イエローカードの有無が勝敗の基準となる。
- ⑦ 得点は、主審の「止め」の宣告までに決まった先の技とする。
- ⑧ 延長戦で引き分けの場合、本戦と同じく反則がある選手を敗者とする。

6 1本の判定基準

- ① 有効部位に技が決まり、直ちに立ち上がれない、立ち上がった後も3秒間以上のふらつきのある場合、又は転倒しなくとも足元にふらつきのある場合、その他決め技の衝撃度による判断、試合続行が不可能と審判が判断した時。
- ② 足払い（足の裏側）等で、完全に体勢を崩した相手、又転倒した相手への正しい姿勢での気迫を込めた定められた部位への残心のある寸止めをした場合。
- ③ 相手が戦意喪失して背中を見せた場合。

7 反則、禁止事項

反則の項目が重複しても、最初を反則警告（イエローカード）、2回目を反則注意（イエローカード）、3回目を失格（レッドカード）とする。尚、暴言、野次・他の応援者、選手の迷惑になると思われる大声での声援などの禁止事項を侵した者に対しては警告を与え、同行為が繰り返された場合は、その者の試合会場よりの退場と、関係する試合者を失格とする。

- ① 股間及び足甲への攻撃行為。関節技。投技。
- ② 防具及び道着をつかむ行為。つかんでからの攻撃。
- ③ 転倒者への直接攻撃。防具外への攻撃。上段への膝蹴り。
- ④ バックハンド。相手を確認しないでの振り打ち。掌底での振り打ち。
- ⑤ ローキック、エンピ、頭突、及び相手を押し出す行為。
- ⑥ 時間の空費、逃避、無防備。
- ⑦ 相手を中傷するような言動。
- ⑧ 試合に関係のない自己表現行為。
- ⑨ 審判員の指示に従わない時、審判員・試合者への暴言、野次。
- ⑩ 他の応援者・選手の迷惑になると思われる大声での声援。

8 異議申し立て

試合中その状態が生じた直後、団体の代表又は監督が速やかに申し立てを行わなければならない。試合終了後の異議申し立ては認めない。

9 失格

- ① 反則、禁止事項に違反し1度目の警告から2度目の「反則注意」の後、3度目の「反則（レッドカード）」を行なった場合は「失格」となる。
- ② 違反1回で、反則注意、又は失格となる場合がある。

10 試合時間及び延長戦

- ① 団体戦（勝者数式）、先取り1本勝負、勝負が決まり次第、試合終了とする。小学生より一般（本戦）全試合時間1分30秒。勝負が決しない場合の大將戦、延長1分先取り勝負。再延長、再々延長共。
- ② 組手個人戦・本戦先取り1本勝負、延長戦1分先取り勝負とする。再延長、再々延長共。

幼年・小学	本戦	1分30秒	延長戦	1分00秒
中学・高校・一般	本戦	2分00秒	延長戦	1分00秒
決勝戦	延長戦	1分00秒		